

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベビーファンド ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド 株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。 (資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

## 運用報告書（全体版）

## ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）



第16期（決算日：2025年6月9日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る6月9日に第16期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

## 投資環境

期間の初めから2025年2月下旬にかけては、2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）でタカ派的な政策金利見通しが示され、米長期金利が上昇したことにより、一時的に株価は下落した一方、トランプ米政権の関税政策の姿勢が楽観視されたことなどを背景に、株価は上昇し、ほぼ横ばいで推移しました。

2月下旬以降は、トランプ米政権の政策による不透明感やステップフレーション（物価上昇と景気停滞）への懸念が高まり、株価は下落しました。その後は、トランプ米政権の関税政策に対して各国との関税交渉が進展したことや、底堅い米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まったことが好感され、株価は上昇しました。

結果として、期間の初めからの株価は、上昇となり、期間を終えました。

当期間は、ビューティー・ビジネス関連銘柄は、マクロ経済の不透明感や景気後退懸念による消費者需要の鈍化、米国小売店における在庫調整、中国需要の停滞などが重石となり、軟調に推移しました。

## 運用のポイント

A.I.（人工知能）を活用したD2C（自社ECサイトなどで直接顧客に商品を販売するビジネスモデル）ブランド事業を展開する日本の企業である「AIロボティクス」を新規に組み入れました。A.I.自動分析システムによって、商品企画から販売、顧客対応までを効率的に行っています。また、柔軟な生産体制と自社EC（電子商取引）を中心とした高収益なビジネスモデルが特徴です。直近は主力スキンケアブランドなどが好調に推移し、前期は売上・利益ともに約2倍の成長を達成しました。新規ブランド創出や海外展開、M&A（合併・買収）戦略の推

進により、さらなる成長が期待されています。そのほか、高金利環境が続くことで、顧客の同社製品導入に対する需要が鈍化する懸念から、「INMODE LTD」の組入比率を引き下げました。

## 運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起します。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。



運用担当者  
柳原 武士

## 本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額					株組式率	株先物式率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落			
12期(2023年6月9日)	円 10,000		円 376		% 3.8		% 91.6	% —	百万円 22,536
13期(2023年12月11日)	9,799		0		△ 2.0		93.5	—	23,883
14期(2024年6月10日)	10,000		697		9.2		93.4	—	21,408
15期(2024年12月9日)	8,950		0		△10.5		94.9	—	19,040
16期(2025年6月9日)	8,593		0		△ 4.0		94.8	—	16,987

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株組式率	株先物式率	純資産額
		騰	落	率		
(期首) 2024年12月9日	円 8,950		% —	% 94.9	% —	
12月末	9,167		2.4	94.8	—	
2025年1月末	9,151		2.2	95.6	—	
2月末	8,563		△4.3	93.5	—	
3月末	8,344		△6.8	95.0	—	
4月末	8,081		△9.7	95.2	—	
5月末	8,512		△4.9	94.4	—	
(期末) 2025年6月9日	8,593		△4.0	94.8	—	

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第16期：2024年12月10日～2025年6月9日

## 〉当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移

(円)

10,000

(百万円)

200,000

9,000

8,000

7,000

6,000

2024/12/9

2025/2/10

基準価額：左目盛

2025/4/10

純資産総額：右目盛

150,000

100,000

50,000

0

第16期首	8,950円
第16期末	8,593円
既払分配金	0円
騰落率	-4.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.0%の下落となりました。

## 〉基準価額の主な変動要因

### 下落要因

組入銘柄（COTY INC-CL A、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

円に対して米ドルなどが下落（円高）したことが、マイナスに影響しました。

第16期：2024年12月10日～2025年6月9日

## ▶投資環境について

### ▶株式市況

#### 世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2025年2月下旬にかけては、2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）でタカ派的な政策金利見通しが示され、米長期金利が上昇したことにより、一時的に株価は下落した一方、トランプ米政権の関税政策の姿勢が楽観視されたことなどを背景に、株価は上昇し、ほぼ横ばいで推移しました。

2月下旬以降は、トランプ米政権の政策による不透明感やスタンダード・フレーション（物価上昇と景気停滞）への懸念が高ま

り、株価は下落しました。その後は、トランプ米政権の関税政策に対して各国との関税交渉が進展したことや、底堅い米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まったことが好感され、株価は上昇しました。

結果として、期間の初めからの株価は、上昇となり、期間を終えました。

### ▶為替市況

円に対して米ドルは下落（円高）、ユーロは上昇（円安）しました。

## ▶当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

### ▶ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの

恩恵を最大限享受すると考えられる企業を、取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。

通貨別では、ユーロや日本円などの比率を引き上げた一方、米ドルなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、期間の初めの38銘柄から期間末は39銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

A I（人工知能）を活用したD 2 C（自社E Cサイトなどで直接顧客に商品を販売するビジネスモデル）ブランド事業を

展開する日本の企業である「A i ロボティクス」を新規に組み入れました。全売却を行った銘柄はありません。

## 〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。  
従って、ベンチマークおよび参考指標との対比は表記できません。

## 〉分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第16期 2024年12月10日～2025年6月9日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	326

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

## ▶ ワールド・ビューティー・オープン

### (為替ヘッジなし)

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

## ▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起します。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

ビューティー関連企業の2025年1～3月期決算が概ね出揃い、足元の市場環境が明らかになってきています。米国市場では、消費者信頼感の低下やリテラーによる在庫調整の影響が見られ、相対的に弱含みの傾向が目立ちます。一方、中国市場では企業やブランドによって業績のばらつきがあるものの、全体として明確な回復の兆しはまだ見えません。

関税をめぐっても、企業各社は警戒を強めています。米国向け販売の現地生産比率を見ると、ロレアルは約半分を国内で製造し、エスティローダーは約75%が米国またはカナダ生産、あるいは既存の貿易協定の対象となっています。P & Gにおいても、米国の輸入全体に占める中国からの調達比率は10%程度にとどまるものの、関税率の高さからその影響を注視しています。一方で、E L Fは約75%のグローバル生産を中国に依存しており、現状の関税改定によって調達コストへの影響が避けられない状況です。こうした環境下、各社の対応は段階的に分かれています。短期的には在庫の積み増しによってリスクを緩和し、長期的にはサプライチェーンの再設計や生産拠点の見直しが進められています。戦略的な価格設定も選択肢の一つではありますが、現時点では慎重な姿勢が目立ちます。

現在の関税政策は、単なる貿易交渉ではなく、持続不可能な貿易・資本の不均衡を是正し、新たな世界秩序へ向けた再調整と捉えられています。企業もこの構造変化を前提に、調達・生産体制の再構築といった長期的対応を本格化させていま

す。ビューティー市場は長期的には安定成長が期待されるものの、当面は関税政策の動向や、それに伴う地政学的・経済的变化を見極めながら、慎重な姿勢で臨む方針です。

2024年12月10日～2025年6月9日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	77	0.901	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(38)	(0.440)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0.440)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	1	0.012	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(1)	(0.012)	
(c)有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(d)その他費用	1	0.010	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	79	0.923	

期中の平均基準価額は、8,554円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

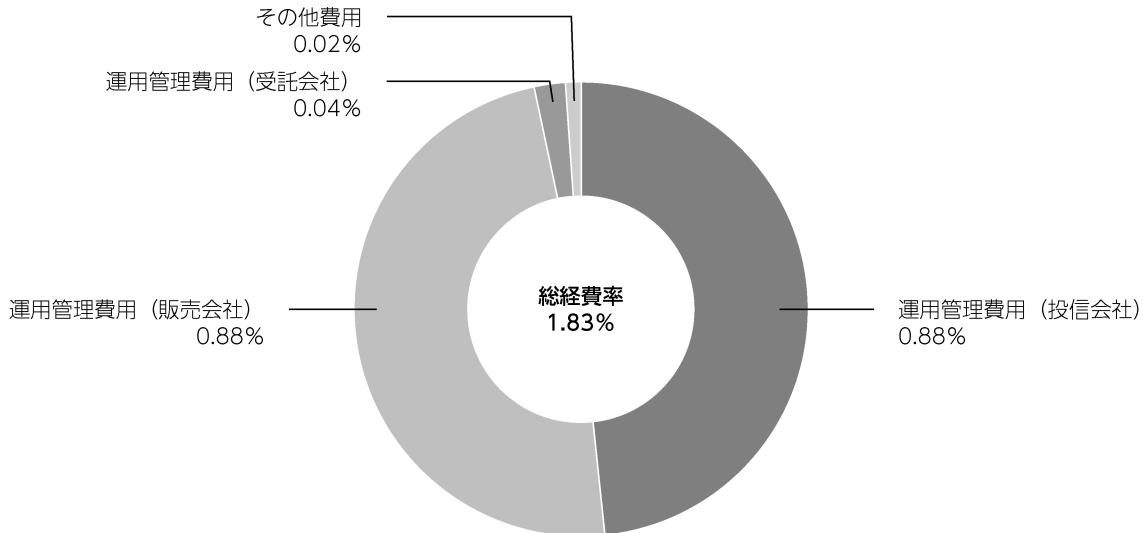
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%です。**



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 801,273	千円 1,462,940

## ○株式売買比率

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,918,470千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,780,328千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.10

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）&gt;

該当事項はございません。

&lt;ワールド・ビューティー・マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 186	百万円 —	% —	百万円 1,731	百万円 76	% 4.4
為替直物取引	752	—	—	2,253	171	7.6

平均保有割合 88.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	2,093千円
うち利害関係人への支払額 (B)	44千円
(B) / (A)	2.1%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 10,226,789	千口 9,425,515	千円 16,948,019

## ○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千円 16,948,019	% 98.7
コール・ローン等、その他	217,868	1.3
投資信託財産総額	17,165,887	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (16,140,876千円) の投資信託財産総額 (19,233,374千円) に対する比率は83.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=144.90円	1 ユーロ=165.11円	1 イギリスポンド=196.17円	1 スイスフラン=176.21円
1 香港ドル=18.46円	100韓国ウォン=10.64円	1 オフショア元=20.1541円	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月9日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	17,165,887,780
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	217,865,340
未収利息	16,948,019,675
未収利息	2,765
(B) 負債	178,081,778
未払解約金	21,449,698
未払信託報酬	156,336,627
その他未払費用	295,453
(C) 純資産総額(A-B)	16,987,806,002
元本	19,770,238,826
次期繰越損益金	△ 2,782,432,824
(D) 受益権総口数	19,770,238,826口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,593円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 21,274,775,539円  
 期中追加設定元本額 635,494,891円  
 期中一部解約元本額 2,140,031,604円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8593円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,782,432,824円です。

## ③分配金の計算過程

項目	目	2024年12月10日～ 2025年6月9日
費用控除後の配当等収益額		-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額		-円
収益調整金額		605,651,149円
分配準備積立金額		39,183,638円
当ファンドの分配対象収益額		644,834,787円
1万口当たり収益分配対象額		326円
1万口当たり分配金額		-円
収益分配金金額		-円

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## [お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2025年4月1日)

## ○損益の状況（2024年12月10日～2025年6月9日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	343,199
(B) 有価証券売買損益	△ 343,199
売買益	529,574,792
売買損	60,125,211
(C) 信託報酬等	△ 589,700,003
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 156,632,080
(E) 前期繰越損益金	△ 685,863,673
(F) 追加信託差損益金	△ 1,905,227,219
(配当等相当額)	△ 191,341,932
(売買損益相当額)	( 604,912,617)
(G) 計(D+E+F)	(△ 796,254,549)
(H) 収益分配金	△ 2,782,432,824
次期繰越損益金(G+H)	0
追加信託差損益金	△ 2,782,432,824
(配当等相当額)	△ 191,341,932
(売買損益相当額)	( 605,651,149)
分配準備積立金	(△ 796,993,081)
繰越損益金	39,183,638
	△ 2,630,274,530

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ワールド・ビューティー・マザーファンド

## 《第16期》決算日2025年6月9日

[計算期間：2024年12月10日～2025年6月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月9日に第16期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		株組入比率	株先物比率	純総資産額
		中率	%			
12期(2023年6月9日)	円 18,868		% 4.7		% 98.0	% — 百万円 25,480
13期(2023年12月11日)	18,667	△ 1.1		98.4	—	26,499
14期(2024年6月10日)	20,566		10.2	98.9	—	23,490
15期(2024年12月9日)	18,563	△ 9.7		95.2	—	21,646
16期(2025年6月9日)	17,981	△ 3.1		95.0	—	19,225

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 組 入 式 率	株 先 物 比	式 率
(期 首) 2024年12月9日	円 18,563	% —	% 95.2		% —
12月末	19,035	2.5	95.1		—
2025年1月末	19,034	2.5	96.2		—
2月末	17,830	△3.9	93.8		—
3月末	17,400	△6.3	95.2		—
4月末	16,874	△9.1	95.6		—
5月末	17,802	△4.1	95.0		—
(期 末) 2025年6月9日	17,981	△3.1	95.0		—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

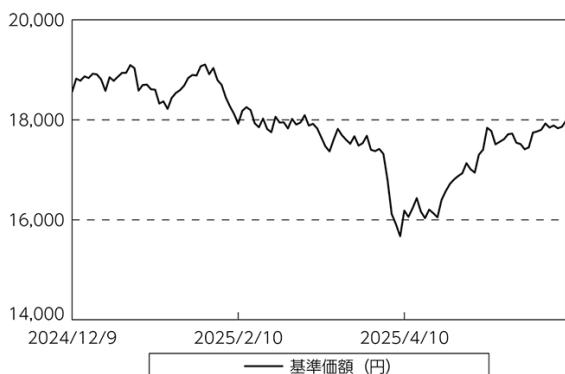
## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.1%の下落となりました。

### 基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

#### (下落要因)

- ・組入銘柄 (COTY INC-CL A、LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI) の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。
- ・円に対して米ドルなどが下落したことが、マイナスに影響しました。

### ●投資環境について

#### ◎株式市況

- ・世界の株式市況は上昇しました。
- ・期間の初めから2025年2月下旬にかけては、2024年12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)でタカ派的な政策金利見通しが示され、米長期金利が上昇したことにより、一時的に株価は下落した一方、トランプ米政権の関税政策の姿勢が楽観視されたことなどを背景に、株価は上昇し、ほぼ横ばいで推移しました。
- ・2月下旬以降は、トランプ米政権の政策による不透明感やスタグフレーション(物価上昇と景気停滞)への懸念が高まり、株価は下落しました。その後は、トランプ米政権の関税政策に対して各国との関税交渉が進展したことや、底堅い米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高い

まったくことが好感され、株価は上昇しました。  
・結果として、期間の初めからの株価は、上昇となり、期間を終えました。

#### ◎為替市況

・円に対して米ドルは下落、ユーロは上昇しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
- ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
- ・通貨別では、ユーロや日本円などの比率を引き上げた一方、米ドルなどの比率を引き下げました。
- ・組入銘柄数については、期間の初めの38銘柄から期間末は39銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

A I（人工知能）を活用したD 2 C（自社E Cサイトなどで直接顧客に商品を販売するビジネスモデル）ブランド事業を展開する日本の企業である「A iロボティクス」を新規に組み入れました。全売却を行った銘柄はありません。

#### ○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高

い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

- ・ビューティー関連企業の2025年1～3月期決算が概ね出揃い、足元の市場環境が明らかになってきています。米国市場では、消費者信頼感の低下やリテーラーによる在庫調整の影響が見られ、相対的に弱含みの傾向が目立ちます。一方、中国市場では企業やブランドによって業績のばらつきがあるものの、全体として明確な回復の兆しはまだ見えません。
- ・関税をめぐっても、企業各社は警戒を強めています。米国向け販売の現地生産比率を見ると、ロレアルは約半分を国内で製造し、エスティローダーは約75%が米国またはカナダ生産、あるいは既存の貿易協定の対象となっています。P & Gにおいても、米国の輸入全体に占める中国からの調達比率は10%程度にとどまるものの、関税率の高さからその影響を注視しています。一方で、E L Fは約75%のグローバル生産を中国に依存しており、現状の関税改定によって調達コストへの影響が避けられない状況です。こうした環境下、各社の対応は段階的に分かれています。短期的には在庫の積み増しによってリスクを緩和し、長期的にはサプライチェーンの再設計や生産拠点の見直しが進められています。戦略的な価格設定も選択肢の一つではありますが、現時点では慎重な姿勢が目立ちます。
- ・現在の関税政策は、単なる貿易交渉ではなく、持続不可能な貿易・資本の不均衡を是正し、新たな世界秩序へ向けた再調整と捉えられています。企業もこの構造変化を前提に、調達・生産体制の再構築といった長期的対応を本格化させています。ビューティー市場は長期的には安定成長が期待されるものの、当面は関税政策の動向や、それに伴う地政学的・経済的変化を見極めながら、慎重な姿勢で臨む方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年12月10日～2025年6月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 2 (2)	% 0.012 (0.012)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用)	2 (2)	0.009 (0.009)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合計	4	0.021	
期中の平均基準価額は、17,821円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 44	千円 186,522	千株 126	千円 289,610
外 国	アメリカ	百株 —	千アメリカドル —	百株 1,942	千アメリカドル 4,928
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	61	768
	フランス	—	—	16	1,490
	イギリス	—	千イギリスポンド —	231	千イギリスポンド 834
	スイス	— (—)	千スイスフラン (△ 55)	238	千スイスフラン 943

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分です。

## ○株式売買比率

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	1,918,470千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,780,328千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.10

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年12月10日～2025年6月9日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 186	百万円 —	% —	百万円 1,731	百万円 76	% 4.4
為替直物取引	752	—	—	2,253	171	7.6

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	2,378千円
うち利害関係人への支払額 (B)	50千円
(B) / (A)	2.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株 数	株 数	評価額
化学 (67.7%)	千株	千株	千株	千円
A i ロボティクス	—	44.7	235,122	
日油	214.8	149.2	403,362	
花王	95.6	86.4	583,632	
資生堂	173.6	173.6	410,737	
I - n e	148.1	96.2	162,000	
医薬品 (12.3%)				
ロート製薬	161.5	161.5	325,180	
情報・通信業 (20.0%)				
アイスタイル	978.8	978.8	530,509	
合計	株数・金額	1,772	1,690	2,650,544
	銘柄数 <比率>	6	7	<13.8%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)					
COLGATE-PALMOLIVE CO	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	634	634	5,724	829,540	家庭用品・パーソナル用品
ELI LILLY & CO	405	405	2,772	401,754	家庭用品・パーソナル用品
BATH & BODY WORKS INC	18	18	1,389	201,357	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PROCTER & GAMBLE CO/THE	539	539	1,435	207,983	一般消費財・サービス流通・小売り
LULULEMON ATHLETICA INC	566	543	8,913	1,291,590	家庭用品・パーソナル用品
ULTA BEAUTY INC	45	35	932	135,146	耐久消費財・アパレル
ABBVIE INC	166	123	5,759	834,551	一般消費財・サービス流通・小売り
COTY INC-CL A	141	141	2,684	388,967	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTERPARFUMS INC	8,076	6,887	3,457	500,997	家庭用品・パーソナル用品
APTARGROUP INC	216	216	2,984	432,458	家庭用品・パーソナル用品
PLANET FITNESS INC - CL A	147	147	2,255	326,865	素材
INMODE LTD	278	236	2,498	362,009	消費者サービス
ELF BEAUTY INC	1,233	790	1,119	162,207	ヘルスケア機器・サービス
KENVUE INC	424	402	4,739	686,731	家庭用品・パーソナル用品
	3,827	3,656	7,944	1,151,168	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額	16,719	14,777	54,612	7,913,330
	銘柄数<比率>	15	15		<41.2%>
(ヨーロ…ドイツ)					
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF	348	348	千ユーロ		
BEIERSDORF AG	419	357	2,438	402,672	家庭用品・パーソナル用品
SYMRISE AG	183	183	4,282	707,004	家庭用品・パーソナル用品
	小計	株数・金額	951	890	314,509
	銘柄数<比率>	3	3	—	<7.4%>
(ヨーロ…イタリア)					
INTERCOS SPA	465	465	626	103,451	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額	465	465	626	103,451
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>
(ヨーロ…フランス)					
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	103	89	4,215	696,071	耐久消費財・アパレル
L'OREAL	236	236	8,999	1,485,966	家庭用品・パーソナル用品
HERMES INTERNATIONAL	15	13	3,032	500,653	耐久消費財・アパレル
INTERPARFUMS SA	173	173	644	106,401	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額	528	511	16,892	2,789,092
	銘柄数<比率>	4	4	—	<14.5%>
(ヨーロ…スペイン)					
PUIG BRANDS SA-B	1,225	1,225	2,097	346,268	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額	1,225	1,225	2,097	346,268
	銘柄数<比率>	1	1		<1.8%>
ユ一口計	株数・金額	3,170	3,092	28,241	4,662,999
	銘柄数<比率>	9	9	—	<24.3%>
(イギリス)					
UNILEVER PLC	1,217	1,147	千イギリスポンド		
CRODA INTERNATIONAL PLC	636	475	5,325	1,044,728	家庭用品・パーソナル用品
	小計	株数・金額	1,853	1,622	282,258
	銘柄数<比率>	2	2	6,764	1,326,986
					<6.9%>
(スイス)					
GIVAUDAN-REG	4	4	千スイスフラン		
AVOLTA AG	729	490	2,036	358,924	素材
					2,123
					374,220

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(スイス) GALDERMA GROUP AG	百株 185	百株 185	千スイスフラン 2,147	千円 378,453	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	919 3	681 3	6,308 <5.8%>	1,111,598	
(香港) CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H	1,624	1,624	千香港ドル 8,193	151,244	一般消費財・サービス流通・小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,624 1	1,624 1	8,193 —	151,244 <0.8%>	
(韓国) APR CORP/KOREA	204	204	千韓国ウォン 2,470,360	262,846	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	204 1	204 1	2,470,360 —	262,846 <1.4%>	
(中国オフショア) PROYA COSMETICS CO LTD-A	1,055	1,055	千オフショア元 8,971	180,821	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,055 1	1,055 1	8,971 —	180,821 <0.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	25,547 32	23,056 32	— —	15,609,827 <81.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各國別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 18,260,372	% 94.9
コール・ローン等、その他	973,002	5.1
投資信託財産総額	19,233,374	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(16,140,876千円)の投資信託財産総額(19,233,374千円)に対する比率は83.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=144.90円	1 ヨーロ=165.11円	1 イギリスポンド=196.17円	1 スイスフラン=176.21円
1 香港ドル=18.46円	100韓国ウォン=10.64円	1 オフショア元=20.1541円	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月9日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	19,233,374,493
株式(評価額)	932,473,433
未収配当金	18,260,372,072
未収利息	40,523,476
未利回り	5,512
(B) 負債	8,320,000
未払解約金	8,320,000
(C) 純資産総額(A-B)	19,225,054,493
元本	10,691,935,501
次期繰越損益金	8,533,118,992
(D) 受益権総口数	10,691,935,501口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,981円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 11,660,901,800円  
 期中追加設定元本額 141,618,620円  
 期中一部解約元本額 1,110,584,919円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7981円です。

## ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

- ワールド・ビューティー・オーブン（為替ヘッジなし） 9,425,515,642円  
 ワールド・ビューティー・オーブン（為替ヘッジあり） 1,266,419,859円  
 合計 10,691,935,501円

## ○損益の状況 (2024年12月10日～2025年6月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	177,093,841
受取利息	167,496,916
その他収益金	9,596,574
	351
(B) 有価証券売買損益	△ 822,763,267
売買益	1,173,914,798
売買損	△1,996,678,065
(C) 保管費用等	△ 1,696,363
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 647,365,789
(E) 前期繰越損益金	9,985,158,482
(F) 追加信託差損益金	103,751,380
(G) 解約差損益金	△ 908,425,081
(H) 計(D+E+F+G)	8,533,118,992
次期繰越損益金(H)	8,533,118,992

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## [お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2025年4月1日)